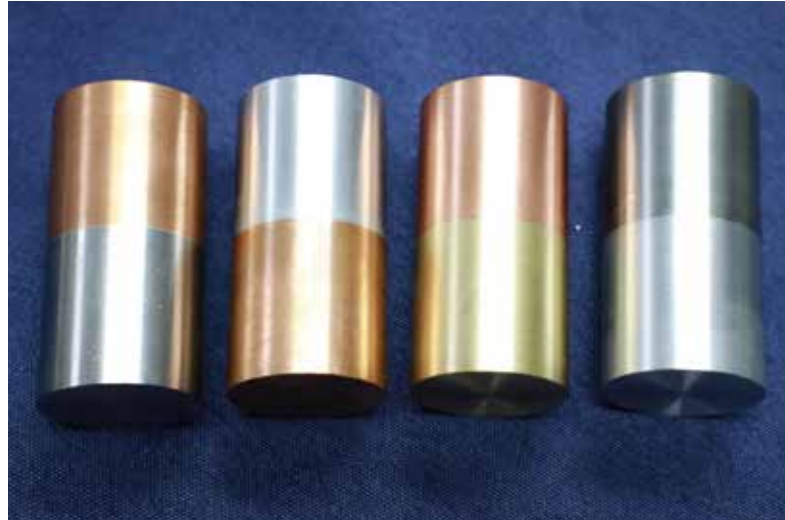


株式会社日本クロス圧延

企業連携による新素材と製造技術の融合の取り組みと関連する生産技術の開発

データ共有でタッグ強化



MM-Lab. のデータ連携を活用して製作した異種金属接合部品

高機能金属材料メーカーの日本クロス圧延を幹事社に、素材メーカーと加工メーカー計6社が参加するものづくりプロジェクト「MM-Lab.」は、2017年にスタート。このうち5社の枠組みで、

ものづくり・商業・サービス高度連携促進補助金の採択を受けた（19年度予算）。

MM-Lab. は金属素材メーカーと、切削、プレス、接合などの加工メーカーが連携してものづくりに当たるこ

とで、作り出

す部品の高機能化や機器の性能・精度向上、省エネ化を目指す。ワンストップの対応で低コストや納期短縮も期待できる。5社は同補助金を活用して20年2月から、製品を作る上で共通するデータを連

携して使えるシステムの運用を始めた。通常なら発注元が各社に別々に発注し、切削・研磨、プレス、表面処理などの各工程を経て集まった部品を組み立てて完成させる一連の流れがよりスムーズになった。

納期は従来の2分の1〜3分の1に短縮。初めて加工する新素材も経験値のある会社のデータが使えるため安全マージンをかけなくて済む。

併せて各社は、金型設計ソフトやFRP製造のための金型、接合用治具の製作装置、超硬金属用の工作機械などを導入し、連携促進に必要な設備投資をした。

これまでに性質の違う金属を使った異種接合による熱交換器や通信機器部品、FRP（繊維強化プラスチック）製

ドローン用部品などを製造。今後に向けては、各社が保有する製品情報や顧客情報の秘密保持に関するルール作りや、不公平感を生まないようにするための工夫も必要だ。日本クロス圧延の岡正俊社長は「連携体として継続的な受注には法人格取得も必要。合資会社化も視野に進めていきたい」と話している。

COMPANY OVERVIEW

■ 株式会社日本クロス圧延

実施場所：千葉県茂原市茂原 697

本社：千葉県茂原市茂原 697

代表者：代表取締役社長 岡正俊

設立：1973年 5月 資本金：2525万円 従業員数：30人

電話：0475 (22) 4151

モ▶ 補助金の対象は、ほかに▽(株)佐藤製作所(東京都目黒区)▽(有)岩井製作所(千葉県鎌ヶ谷市)▽(有)小林製作所(栃木県鹿沼市)▽(有)丸一超硬(さいたま市中央区)